

大切なからだと未来を守るために



# あなたも受けましょう 乳がん検診

マンモグラフィ  
健診車で  
行います

## マンモグラフィ検査実施



### 初期症状がないため 放置すると命を脅かす危険も

乳がんは初期症状はほとんど無く、がん細胞が増え始めるとしこりとして触れるようになります。気づかず放置すると、がん細胞は増殖し乳腺だけに留まらず、わきの下のリンパ節や肺、骨など全身に広がり命を脅かすこととなります。また治療後の再発の可能性も高くなります。

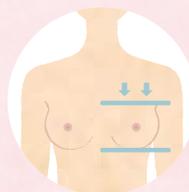
### 早期に発見すれば 怖い病気ではありません

現在のところ、乳がんの決定的な予防法はありません。症状が出てからではなく、**症状が出る前から年1回の乳がん検診を受診**して早期にがんを発見することが大切です。そうすれば完治する可能性が高いことはもちろん、治療の選択の幅も広がります。

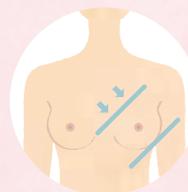
### マンモグラフィ検査について

撮影台の上に乳房を乗せ、透明な板で圧迫し薄く伸ばして上下（内外斜位方向）や斜め方向（頭尾方向）からレントゲン写真を撮ります。セルフチェックや触診では見つからないようなごく小さなしこりや、悪性の可能性が高い微細な石灰化を捉え、**早期のがんを発見することができます。**

#### 二方向撮影



内外斜位方向  
(MLO)



頭尾方向  
(CC)

乳がんは女性が罹るがんで一番多く、20歳を過ぎれば乳がん年齢です。  
ご自身のからだを知ることは、がん予防の大事な第一歩です。

お申込みはこちらから ▶

日程等の詳細は社内広報でご確認下さい

東京ドーム健康保険組合